

コロナ対策に総額約1848億円

過去最大の補正予算案

立憲民主党・
民権クラブ 県議会議員 きしべ 都

県議会第3回定例会が始まりました。上程された補正予算案の規模は、総額で1847億870

0万円で、過去最大だった今年度の6月補正予算をさらに大きく上回るものとなりました。

補正予算案の内訳のほとんどが「医療提供体制

の維持と感染拡大防止

策」に充てられ、診療体

制・検査体制の維持や医

療機関等が行う設備整備

等に対する補助、軽度・

無症状患者宿泊療養施設

の借上げ、県機関におけ

る感染拡大防止対策など

に約1380億円です。

「福祉サービスの提供

体制の維持」には、福祉

施設におけるマスクや消

毒液の購入補助、介護

サービスへの介護ロボッ

ト等の導入支援補助に約

40億円を充てます。

医療の担い手支援とし

て、医療従事者等慰労事

業費と薬局薬剤師慰労事

業費が合わせて110億

5976万円。

県内経済の回復に向け

た支援として、県内消費

喚起対策事業費、これは

キャッシュレス決済時に

決済額の20%を1人当た

り4千円相当を上限に還元するものです。また、

中小企業・小規模企業再

起支援事業費補助や商店

街等プレミアム商品券支

援事業費、新たな観光モ

デル創出推進事業費やス

ポーツ振興事業費補助な

どに合わせて198億2

047万円。

生活支援は、生活福祉

資金貸付事業費補助とし

て、生活困窮者の増加に

対応するため、生活福祉

資金の特例貸付を行う県

社会福祉協議会への貸付

原資等の補助を追加した

90億531万円です。

今年は初期症状が似て

いるインフルエンザと新

型コロナが同時期に流行

することも予想され、不

安の声もあります。本会

議の質疑の中で、65歳以

上や60〜64歳で重篤な基

礎疾患がある方々、約2

30万人のインフルエン

ザ予防接種費を無償にす

るための追加の補正予算

を計上する方針を黒岩知

事が表明しました。この

方針は、重症化リスクの

ある高齢者の方々に予防

接種を優先させること

で、同時流行による医療

現場の負担を軽減するも

のです。予防接種の事業

主体である市町村に財政

支援を行う予定です。

本会議に続いて行われ

る常任委員会、特別委員

会、予算委員会などで内

容や課題をしっかりと審議



みなさまからのご意見、
ご要望をお待ちしています
きしべ都政務活動事務所
南区通町2-25-3 千々輪ビル1階
☎045-341-3385
<http://kishibe-miyako.com/>